

## 会議録

会議の名称	平成21年度第3回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成21年7月28日（火曜日） 14時00分から16時00分まで
開催場所	エコプラザ西東京 プラザ棟2 多目的スペース
出席者	<p>山谷会長、金成副会長、小川委員、紺野委員、三澤委員、石井委員、笠原委員、飯田委員、江口委員、鈴木委員、高橋委員、池田委員、片桐委員、平山委員（欠席：大河内委員）</p> <p>事務局 青柳ごみ減量推進課長、河合ごみ減量係長、高橋清掃係長、三村統括技能長、小暮主任、加藤主任</p>
議題	<p>1 家庭ごみ3事業の成果と評価</p> <p>(1) ごみの減量</p> <p>(2) 分別・資源化の促進</p> <p>(3) 環境問題に関する意識や関心の変化・向上</p> <p>(4) 費用負担の公平化</p> <p>(5) その他</p> <p>2 課題と今後の取り組み</p> <p>(1) 分別の種類と収集方法</p> <p>(2) 収集回数、指定収集袋の大きさ等</p> <p>(3) 処理手数料</p> <p>(4) リバウンド対策</p> <p>(5) その他</p> <p>3 その他</p>
会議資料の名称	<p>西東京市のごみ処理経費・収入の推移（資料1）</p> <p>西東京市の資源化量（資料2）</p>
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
山谷会長	<p>ただ今から第3回西東京市廃棄物減量等推進審議会を開催します。本日、大河内委員より欠席との連絡をいただいております。事前配布しました第2回審議会の会議録について修正等がありますか。</p>
池田委員	<p>2点ほどありますので会議録2ページ、4ページについて修正をお願いします。（修正内容について説明あり。）</p>

山谷会長       ご本人の発言の真意が伝わらない場合もあると思いますので違うようであれば訂正しますので、次回から会議録に訂正がある場合は事前に文案をお持ちいただくようお願いします。他に訂正はありますか。

三澤委員       会議録1ページと4ページに修正をお願いします。  
（修正内容について説明あり。）

山谷会長       私からの訂正も3点ほどあります。  
（修正内容について説明あり。）  
他に訂正等はありませんか。無ければ議題1に入ります。本日配布した資料について事務局から説明願います。

事務局         資料1「西東京市のごみ処理経費・収入の推移」、資料2「西東京市の資源化量」について説明。

平山委員       資料について確認ですが、資料1でごみ処理経費と3事業に関連する委託料等を合算した金額が処理にかかった費用ですか？

事務局         ごみ処理経費の部分が1年間にかかった費用のすべてで、右下の表は3事業に係る経費を抽出したものです。

山谷会長       確認したいのですが、前回の会議で戸別収集にしたことにより、実施前より1.5倍かかるというのは費用ではなく、作業量が増えるということでしょうか。資料をみると収集運搬費用で年間で比較しても1.5倍にはならないと思いますが。

事務局         全体の費用ではなく、収集台数を増やしましたが、車両単価を下げた経緯もあります。

山谷会長       それでは作業量が1.5倍に増えたということで修正をお願いします。  
続いてごみ有料化の成果と評価について論議していただきたいと思いますが、議論するにあたって市民の意見、アンケート調査が重要であると思いますが、調査結果をみますと、問8、家庭ごみの有料化により、ごみの減量やリサイクルに対する関心は変わったかという問いに、ほぼ半数の方が意識向上と、ごみ減量等より一層積極的に取り組むようになったと回答し、問9ごみが有料化になってからごみの減量やリサイクルの取り組みは変わったか、という問いに「より積極的に取り組んでいる」という方が半数くらいいるようです。問10では問9で「より積極的に取り組んでいる」という方に理由を聞いていますが「ごみ処理にかかる経費を節約したいから」という方が多かったようです。

問16の有料化の効果や影響についても「ごみの減量やリサイクル、環境問題に関心を持つ人が増えた」、「ごみと資源をきちんと分ける人が増えた」、発生抑制にかかわることですが「レジ袋をもらわないなど過剰包装を

断る人が増えた」といった設問について「そう思う」、「ややそう思う」と回答された方が7割以上となっています。

有料化によりごみの減量効果があるのは間違いがないと思います。

また、他市の事例ですが1人1日あたりのごみの排出量（原単位）が多摩26市で13番目だったものが有料化実施後、1位になったり他の市でも減量効果は出ています。

石井委員 アンケート問4の結果によると戸別収集の影響で「不法投棄、ポイ捨てが増えた」との回答がありますが、市としてはどのような対応をしているのですか。また、不法投棄されてしまった場合は自分で処理するしかないのですか。

事務局 戸別収集開始前は一部の集合住宅を除いて、集積所は路上にありましたし、いろいろなごみが出ていましたのでポイ捨てかどうかの判断は難しいところがありました。戸別収集実施後は基本的に敷地内にごみを出していただきますので、路上の資源物集積所にごみが出されていると目立つこととなりますので、統計は取っていませんが、感覚的にポイ捨てが増えたと感じられるのではないかと思います。粗大ごみの不法投棄については以前より件数を記録していますが、戸別収集、有料化を実施してから減っています。

石井委員 不法投棄されてしまった時はどうすればいいですか。

事務局 もし、不法投棄されてしまった場合は、ご連絡を頂ければ市で処理をします。また、内容物などで個人を特定できる場合は、本人や管理会社等へ指導を行っていますし、あまりに悪質な場合は警察に通報もしています。

平山委員 成果と評価ということでメリットとデメリットを出すとか、評価する方法として、3事業を実施した場合としなかった場合、それぞれごみ量等の推移を出していただくのはどうかと思います。シミュレーションは難しいですが、やらなかった場合どれだけごみの量が減らなくて、資源化が進まなかったのかなどの比較の焦点はありますが、近隣でこういった事業を行っていない市がありますから、ごみの量はこのくらい伸びていくだろうという予測はつけられると思います。事業を行ったからごみの減量効果がこれだけあった、リサイクルの推進がこれだけ進んだといった資料ができればと思っているのですが。

池田委員 有料化などを実施した市と、していない市を比べてみれば、実施した市の方がごみの量は低いので、やった方が良いということはわかりますので、シミュレーションをやるほどではないと思います。ただ、どのくらい減ったことが「効果」と言えるかということで、後からリバウンドするから反対する人もいます。リバウンドするということも考慮して、今回の効果がどうかということであれば、可燃ごみが16.6パーセント減ったということは「良い評価」をしても良いのではないのでしょうか。市民がどう思っているかという評価については、アンケート結果で肯定的に仕方がないということも含めて、

何割が良いのかということもありますが、7割くらいの方が有料化を認めている、納得しているのではないのでしょうか。

有料化だけで戸別収集をしないで10パーセントしか減らないという事例もあります。戸別収集で負担が増えたということはありませんが、前のように拠点収集に戻したことにより、ごみの量が増える恐れもあります。

16.6パーセントは可燃系のごみですが、不燃系のごみについて計算してみましたら以前は一緒に集めていたプラスチックと不燃と金属を合わせたら22パーセントほど減っています。これも20パーセントの減少を超えていますので減ったという評価はできると思います。市民意識については、アンケートを見ても、結果を見ても環境に関する意識が高かったということの評価できると思いますが、最終的に残るのはプラスチックの問題と考えています。

山谷会長

プラスチックが問題ということですが、問13では可燃ごみ、不燃ごみのことが主になっていると思いますが、ここでは指定収集袋の購入費用について指定収集袋の購入費用について「やむを得ない」、「少ししか負担に感じていない」、「ほとんど負担に感じていない」という答えが多数を占めています。

問7はプラスチックの処理手数料に関することで、回答が一番多いのは9番、「可燃ごみ・不燃ごみより価格を下げた方が良い」となっていて、回答数の半分以上を占めています。それから11番の「無料で良いのではないか」という方も4割近くを占めています。複数回答ができる設問ですので9番と11番を同じ人が答えているということもありますが、非常に多くの方が「資源」としてプラスチック容器包装類を手間をかけて出しているのに、「ごみ」と同じ経済的負担を求められるというところが、どうしてなのかという気持ちを持っているのではないかと思います。

平山委員

ごみの量が16.6パーセント減量されたということですが、これは前年と比較しての数値のため、仮に人口が増えてももっとごみの量が増えたり、不景気のためにごみの量が減っているのかもしれないので、それに対してシミュレーションして本当にごみの量がどうなったかということ想定しないと、対前年比でいくら下がったからというのは、ごみが減ったからという事実だけだと思います。実際に評価をするときに、西東京市で人口が増えて本来ではもっとごみが増えているのか、景気が悪くなればもっとごみが減るのではないのかということに対して、ごみの減量効果があったかを比較していくと、もっと大きい数値になるのか小さい数値になるのかわかりませんが、そういう意味で何もしなかった場合のある程度の路線を決めてそれに対してどうかということの評価したらと思います。

池田委員

私たちがごみの量についてお話をするとき、1人1日あたりのごみの量について比べていますので、人口の多い、少ないということや他の市、ということとは関係なく、今まで1人1日あたり440グラム出していたのが、340グラムになったかということを見ていますので、今の話をそう見ていただければと思うのですが。

平山委員 3事業をしなければ結果として340グラムになったものが350グラムになるのかあるいは320グラムになるのかシミュレーションしなければ現状のものと比較できないのではないのでしょうか。

池田委員 そんなに難しく考えず、有料化してごみの量が減れば良いのではないかとと思いますが。

山谷会長 人口要素についてはごみ原単位を出せばニュートラルになると思います。平山委員の言われる全体がどうなのかということもあるとは思いますが。

池田委員 他の市のごみの減り具合と自分の市の減り具合を比較してはどうかと思います。

山谷会長 シミュレーションが有効なのは、ある程度の長期をとるとか、有料化をこれから実施するという場合で、どのくらいの減量効果が得られるのかということだと思います。

平山委員 シミュレーションをどうとらえるかについては、各委員の判断にお任せしたいと思いますが、3事業を実施する前に市として、実施後の効果についてシミュレーションしているとすればそれに対して結果はどうであったかという検証の仕方もあると思います。

山谷会長 ご指摘されていることについては間違いはないと思います。他の方の意見はいかがでしょうか。

鈴木委員 ごみの減量は、ごみの処分場についての問題が大きいと思います。埋め立てする場所の確保が難しいということからごみの減量が大きく浮かび上がっていると思います。それに伴って資源のリサイクルもあると思います。ごみ全体としてどのように減量したのか、ごみの処分場で処分しているごみはどのくらいになったのかを第一に取り上げて減量の評価とする必要があるのではないかと思います。経費については無料にこしたことはありませんが、ごみ減量を維持していくには、どのくらいの経費が必要なのかをもって有料化を考えていけばいいのではないかと思います。特にプラスチックが問題で資料1を見ても総量で経費が2億2千万円増えています。その中の約1億4千万円がプラスチックの分で増えています。他のごみよりも費用がかかるということも考える必要があると思います。

山谷会長 ご指摘は広い範囲にわたりますが、最終処分、埋立されるごみの量はどうかという点は重要だと思います。有料化の目的の一番重要なところで、最初に掲げられていたのは最終処分場の延命ですので、そのところについて埋立ごみについてどのような減量効果があったかをチェックする必要があります。

江口委員 シミュレーションのお話をされたときに思いましたが、この審議会の前にシミュレーションを行っているのではないかとと思うのですが。

山谷会長 一般廃棄物処理基本計画を策定するときにはシミュレーションをすることが多いと思います。長期のスパンで人口や社会情勢の変化に合わせて、ごみは何もしない場合と対策をとった場合はこうなるといったことを行うのが一般的だと思います。ただ、この審議会においてシミュレーションまで行うのは無理かもしれません。

平山委員 難しいかもしれませんが、提言だけはした方が良いでしょう。

山谷会長 ここ数年、どこの自治体でもごみの量が減っていますので、3事業による効果と一般的な減量を比較することは必要かもしれません。

紺野委員 有料化で顕著に出てくる数値が、古紙類の中の雑紙の回収量になります。雑紙は行政での古紙回収の際に出されて、集団回収では出ないのですが、有料化と同時に雑紙の量が増加しました。可燃ごみからより分けられた雑紙の量が相当増えていますので、そういった数値も考慮していただければと思います。

山谷会長 他市でも有料化したところで減量した部分の多くを占めているところもあるようです。

池田委員 先ほどのプラスチックの件で二つ問題となっていて、一つは容器包装リサイクル法で費用がかかるということについてですが、これは法律に則って処理するのが本筋と思われるため西東京市も行っていますし、費用を安くできれば安い方が良いとは思いますが、かかるものはかかってしましますし、減らしていくのは今後の努力と思われます。

もう一つの問題は、プラスチックに出しても不燃ごみに出しても同じ値段であるから、分別が雑になるという問題点をアンケートに回答した人たちがプラスチックの袋が安ければ対応すると言っているか、他の市の例を見たらプラスチックの袋は安いのが当然という人もいます。私はそれが正しいということではないのですが、前の審議会でプラスチックと可燃ごみ・不燃ごみを同じとすることを決めたことは大変なことだったのではと思います。市民からどのくらいの反発があるかと思っていましたが、反応が小さく、そんなに厳しくないのかもしれませんが、それによって現実に対応がうまくいかなければ意味がないと思うのです。実施前に出されれば良かったのですが、その狙いがこの前出された資料でプラスチックの袋が他の市よりも高いのは、西東京市がプラスチックも減らして欲しい、作る側の生産者責任や、発生抑制というところで市民の方が買わないようにしてもらうために1リットルあたり2円にするということはすごいことだったはずですが、市民に周知をして理解してもらえば、納得して対応しようと思われると思います。

しかし、実績として当初予定していた2,900トン、不燃ごみよりプラスチックの方が多いと考えていたものが2,400トンくらいしかリサイクル協会へ出ていないので、結局、数百トンが不燃ごみに回ってしまっているということです。プラスチックと不燃ごみ両方が減れば、1リットル2円も意味もありますが、合計して減っていないということでは意味がないと思います。他のどの市と比べたら良いかと思ひまして、東村山市と比べて見ました。資料についてはごみ減量推進課に出してあるので会議で出していただきたいのですが。

山谷会長           では次回の会議で出していただきましょう。

池田委員           東村山市はプラスチックの方が多くて、不燃ごみが少ないです。  
東村山市と西東京市の1人1日当たりのプラスチックと不燃ごみを足したものが72.4グラムと同じ量になっています。それなのに西東京市は不燃ごみが多くて、東村山市はプラスチックが多いということになっています。西東京市は両方とも量が少なければ、プラスチックの1リットル2円について賛成しても良いと思うのですが、結果として東村山市と変わらないというのではがんばる根拠がなくなってしまいます。

山谷委員           基本的に押さえておかなければいけないのは、プラスチックを「資源」か「ごみ」ということだと思います。例えば、一番最初に可燃ごみ・不燃ごみをプラスチックと同額にしたのは昭島市だったのですが、明確に「資源物」という捉え方ではなく、その当時は「プラスチックごみ」という見方をしていました。ですが西東京市では容器包装リサイクル協会のルートに乗せる「プラスチック容器包装類」を集めていまして「資源」としての位置づけであると思います。自治体によっては「プラスチックごみ」として製品プラスチックと一緒に集めているところもあります。  
「資源」として集めているのであれば、「ごみ」と一緒の値段で良いのかということが出てきますよね。

池田委員           前審議会では「資源」としてはいますが、費用がかかることと、「資源」であっても減らして欲しいものであるために1リットル2円にした、と聞いていますし、すごいことをしたと思っていたのですが、その答えがここで出れば審議会でもう一度この値段でがんばろうと思えるのですが。

金成副会長        普段の生活をしている中で、ごみを分けることによって、プラスチックなどが処分場にいかなくても済むので罪悪感を感じないで捨てられるため、3事業について評価しています。  
ただ、ごみの原単位が減っているのに、課徴金があるということについては納得がいかないです。  
それとプラスチックのことになりますが、アンケートの問7でほとんどの方が袋が高いということのようで、発生抑制のために実施したかもしれませんが、生活の隅々までにプラスチックが入っていて発生抑制ということを書いていられないということを知りから聞いたりした時に、プラスチックを1

リットル2円とするのは酷ではないかと思えます。というのも実際にやってみてですが、可燃ごみと同じようにプラスチックを捨てることができません。捨てる時には一手間かかりますし、袋に空気が入って入れにくいです。

池田委員       プラスチック分別開始当初は小袋に入れておいて、それを指定袋に入れて良いということでしたから押し込んで小さい袋でも出すことができましたが、途中から二重袋で出せなくなったために一度小さく入れたものをまた出して指定袋に入れなくてははいけないので悩ましいです。

金成副会長       プラスチックで汚れたものはコツさえ覚えれば、簡単に汚れ落としはできると思えます。そちらの方が楽だと思えますし、不燃ごみと同じ価格にしないでプラスチックの価格を下げた方が不燃ごみも少なくなって、後は皆さんの意識によってランクも維持できるのではないかと考えています。

片桐委員       プラスチックの20リットルの袋に入った重さと可燃ごみの20リットルの袋に入ったものではどのくらいの差がありますか。収集車はトン数で量っていますので、やはり重さではないかと思っています。プラスチックの指定袋に入ったとして、可燃ごみの半分の重さであれば、半分の値段で良いのではないかという考え方もあると思うのですが。

事務局       厳密に言ってしまいますと、可燃ごみでも生ごみをまったく出さない場合がありますので同じ可燃ごみでも重さが違ってきてしまいます。

山谷会長       ごみ品目として重量を勘案して価格を出すとするれば、軽いものについては一定の考慮が必要かもしれません。

平山委員       処理施設に持ち込むときはトン数ですがコストはプラスチックの方が可燃ごみよりも高いですね。

高橋委員       私は障害者団体から審議会に選出されていますが、今回の有料化は障害者の支援費などが苦しくなっているところへきているということや、生活が苦しい人たちの負担というのはアンケートに出てこないですね。

私自身のことですが、ごみを捨てる時にプラマークを見るのですが、洗えないような小さな物にまでマークがついていて洗って出すということは、いくら企業が再商品化の費用を出しているからといって行政や市民にしわ寄せがくるのかが納得いきませんので、市民感情を考えた方が良いと思えます。ごみの減量、ごみをどうしたら減らせるのかについて市民としては、今回の有料化は良い材料だと思いますし、本当は有料化は嫌だけれども、ごみを減らすにはやむを得ないという意見がありますし、容器包装リサイクル法によって、資源を有効に使って地球環境を汚したくないという人の思いがアンケートにも出ているのではないかと考えています。審議会としては検討した結果を市民の方々に訴えるということと、プラスチックの値段を同じにするのであれば、市民アンケートと乖離があるので、市民を説得できるような状況を出してもらいたいと思えます。

山谷会長 次の議題もあるので簡単にまとめますと、生活感覚からいっても問題含みであるとうことで、プラスチック容器包装類の指定袋価格については見直しの検討が必要ではないかという認識を皆さんがお持ちということで、今日のところはよろしいでしょうか。

池田委員 答申をした時にその部分がネックとなると思います。

山谷会長 皆さん、そのお考えだと思います。

池田委員 広報誌で発表されたばかりのプラスチックの袋の値段についての趣旨と反対のことを審議会で出さなければならぬので、簡単に割り切れないところではあります。

山谷会長 見直しの方向についてある程度整理したうえで皆さんに出すというのはいかがでしょうか。

池田委員 ここで話があっただけで決めてしまうのは安易過ぎるので、第三者に説明できる裏づけを持って結論としたいですね。

山谷会長 事務局に整理してもらいましてその上で、どういう形にしていくか、現状におきましては、具体的な見直しについて入るということに本日はしたいと思います。

続いて議題(2)「課題と今後の取り組み」に移りたいと思います。

課題と今後の取り組みということでアンケートの設問にもあったと思います。3事業以外の取り組みについても市民に聞いておりますので参考にさせていただきたいと思います。

議題については分けてありますので順番で(1)分別の種類を収集方法からと思いますが、アンケート結果については問18になります。これを見ますと868人の方が「分別について理解できる」、400人近くの方が「分別品目がわかりやすい」と回答しています。一方、「品目が多くて少し分かりにくい」とする方が400人強いるようです。他市と比べて分別品目数が多いと思いますので、そういったことがごみの原単位の低下にもつながっていると思います。

池田委員 金属類の収集費用と売り払いの金額に開きがありますが、金属は分けて集めなくては仕方がないものではないでしょうか。

事務局 柳泉園で不燃ごみや可燃ごみ、粗大ごみの中から金属などを取り除くのですが、分別を手前ですることにより「不燃ごみ」ではなく「資源」としての意識を持っていただくということと同時に、売り払いを行うことで市へ直接、歳入として入れるということがあります。コスト的には分別せずに持って行った方が良いのかもしれませんが、分別意識を高めていきたいということが一番としてあります。

池田委員 廃食用油やプラスチックは環境に関連しますが、金属は処理の中のどこかで回収できるとすると3,300万円使って、280万円の収入ではギャップが大きいです。がやった方が良いでしょう。

事務局 中間処理施設で分けるのではなくて、手前で分別することで「資源物」としての扱いとしていきたいです。

金成副会長 私は金属を分別して回収して欲しいです。細かいものまで出せるのでお金はかかりますが。可燃ごみや不燃ごみで処理すると記憶が定かでないのですがダイオキシンの誘発を起こすということで焼却場へは入れない方が良いでしょう。コストの面で金属を入れられるポイントなどがあれば良いのですがそうならないので仕方がないと思っています。分別の回数なんですが、プラスチックの金額を下げることで不燃ごみが少なくなったならば、回収を月1回にしても良いのではないかと思います。それと分別の種類について将来的に理想では5年以内ですが、生ごみを拠点回収にするかコストをかけて回収するか分かりませんが、一番早く集めなければいけないのは生ごみと思っています。生ごみを分けて出せば可燃ごみが量、重さともに少なくなります。

山谷会長 生ごみを回収したとしてどちらに持っていくのでしょうか。

金成副会長 事業系ごみですが、多摩や埼玉地区のものを肥料としている企業がありますのでそういったところで処理をしてもらえればと思います。  
肥料にするためには異物が混ざってはいけないので、きちんと出せる人で手を挙げてもらってグループにして拠点で行って行ければと思います。

池田委員 他の町では数百人のグループで実施しているところがあります。  
横浜市では生ごみをきちんと出せる人を「ごみマイスター」という良い名前をつけています。

江口委員 私は生ごみを庭に埋めて、出していません。

池田委員 「ごみマイスター」のように市から認定されれば気分が良いと思いますので、グループを作って、きちんと出せる人たちは無料で回収してもらって企業や農家と組んでいくということの積み重ねでもあると思います。  
別になりますが、問19の5番目で「不燃ごみの回収を増やして欲しい」について430の方が選んでいますね。それで「不燃ごみの回収を減らして良い」という人が38人なんです。10倍以上の人が不燃ごみの回収を増やして欲しいと言っているということは不燃ごみにたくさん出す人がいるということです。不燃ごみは月1回でも腐ったり、臭ったりするものはないので困ることはないと思いますが、答えている人は分別が悪くて、分別についてお知らせの徹底がされていないのではと思います。

江口委員 以前、市からプラスチックの分別についてお知らせが出されましたが、汚れたものの分け方や出し方について徹底されればもっと不燃ごみは減るのではないのでしょうか。このお知らせが出された時にプラスチックのランクがAランクに戻ったこともあったと思いますので、時々お知らせを出した方が良くと思います。

池田委員 きちんと分別した人は回数を減らしても良いと思っているのに、増やして欲しいという人が10倍程いるのは理解度が低いと思われるので、理解してもらうような働きかけをする必要があるだろうという答えだろうと思っています。

金成副会長 レトルト食品などのプラスチックについてふき取ってしまえば簡単なんです、食品の入っていたものをそのまま不燃ごみに入れてしまえば楽で、袋の値段が同じだから罪悪感なしで入れられます、不燃ごみの回数を増やしてもらいたいというのは自然の成り行きだと思います。けれども、プラスチックの値段を下げて、ひと工夫してもらいPRしてもらって資源で値段も安いということになれば不燃ごみの回収は月1回で良いと思います。

池田委員 紙とプラスチックの回収が同じ日ということについて市への苦情などはありませんでしょうか。私は不燃ごみの日は出すものがないのに、紙とプラスチックの日には出すのに時間がかかるという感じなのですが。

事務局 一週間に回収日が5日間しか無いものですから割振りを考えました。  
西東京市は戸別収集と集積所収集の両方があるため、戸建住宅を基本に戸別収集は考えていますので、指定袋を使用するものは戸別収集、それ以外の資源物については集積所収集となっています。その中で不燃ごみとプラスチック、可燃ごみとプラスチックのように袋で収集するものを同じ日にとすることは難しかったためです。

池田委員 一日に別々の場所に出すということに対しての市民からの苦情などがなければ良いのですが。

事務局 今のところそういったことに対しての苦情はありません。

片桐委員 収集方法の中で集団回収も考えてよろしいでしょうか。町内会で集団回収を行っていて、月1回、資源物を集めています。基本的に集団回収はお金になりまして町内会で貯めています。資料で資源回収の費用を見ますと結構かかっています。ごみの減量は市が集めるごみが減ればいいのか、全体量が減ればいいのかがあると思いますが、集団回収を推奨していただければ市で回収する量が減っていくのではないのでしょうか。今は市で推奨されていないように思えますが。

事務局 市としましてはお手元の資料の18、一般廃棄物処理基本計画の中で集団回収を推進していくということになっています。しかし実際には集団回収より

行政回収の方が費用はかからないということもあるのですが、コミュニティの確保や資源化への意識向上といったことで集団回収を推進しています。

片桐委員        そうしますと、補助のようなことをしていただいているのでしょうか。

事務局         奨励金として1キログラムあたり7円を集団回収団体に払っています。

片桐委員        集団回収は月1回なので溜まってしまって、週1回の回収に出す人もいたりするので、取り合いになっていないのかとも思うのですが。

事務局         集団回収でも月2回にしているところもあります。いろいろな形態で回収業者の方と調整していると思います。できるだけコミュニティを持ちながら分別精神を持っていただきたいと思います。

片桐委員        現実には補助金が出ているということですね。

事務局         コスト的には集団回収の方が費用がかかっています。

片桐委員        今日の資料の中に集団回収の費用は入っていますか。

事務局         資料1の下のほうにあります。

平山委員        集団回収には補助を出しているとのことですが、行政回収にかかる費用はいくらくらいでしょうか。

金成副会長     集団回収が行政回収より高いというのは、はじめて聞きました。

紺野委員        回収業者側からですと、ぜひ集団回収を増やしていただきたいです。それは行政回収で出てくる古紙類では、それだけでは売ることができないくらいの雑紙が多くて、処理するのが非常に大変です。それを集団回収で出されたきれいなものとブレンドして出していかないと処理できないようなものがたくさんありますので、行政回収・集団回収それぞれの方法によりフィルターが多ければ、それに引っかかるものが多いと思います。しかし、集団回収で10世帯のところに行くと回収に行くのに半日かかるといったことで、毎週回収するということになりまして割が合わなくなりますが、費用という面から見ますと団体の方と業者との間で話し合いをさせていただきませんが、できたら周りの団体と一緒に集められるような方法をとっていただければコストも下がります。現在は市から補助がほとんどない状態なので厳しい状況ではあります。

事務局         集団回収業者へは古紙の売り払い金額が一定の金額を下回った場合に、市からの委託料を支払うこととなります。一定の価格を上回った場合については支払いを行いません。

金成副会長 集団回収が行政回収よりコストが高くなったのはいつからでしょうか。  
団体の会員の方に始まったときから集団回収の方が安いと説明していたのですが。

紺野委員 集団回収の方が安かったことはありました。古紙の価格がある程度高かったので集団回収には力を入れなくても、民間と民間で行うことができたということと行政回収は行政の職員が直接集めるので高い、ということが各市で全部そういう状態でした。しかし、今は行政回収の方は民間委託事業になってきていますので、2~3年前から行政回収の方が安くなってきていると思います。市から各団体に出している奨励金7円と業者へ補助している金額を合わせますと、行政回収より高くなると思います。

金成副会長 そうしますと市としては2~3年前から安くなっているということで良いのでしょうか。

事務局 以前、職員が回収していたときには、人件費からすべて入ったの費用になりますので、その時には行政回収の方が高かったです。

山谷会長 その他の議題として「処理手数料」これは先ほどから議論しています。次に「リバウンド対策」ですが、重要なことはリバウンドしそうになったらすぐに対策をとることにつきます。

このあたりで私の方でまとめをさせていただきます。

一番大きな議論となったのは、プラスチック容器包装類の価格ですが、いわゆる「ごみ」と同じ価格であって市民の努力が報われないというような形で良いのかということについて、市民アンケートからも出てきていますので、この問題については審議会で取り組むことにします。

取り組みについてはある程度、検討の方向を執行部として示して整理して議論しやすくするのが大事だろうと思います。そのため、私と副会長、事務局とで整理をしてたたき台を出させていただきたいと思います。

池田委員から問題提起されました、プラスチックと不燃ごみの3事業実施前と後にどのように変化しているかという資料を事務局に用意してもらうのですが、池田委員と個別で調整させていただきたいと思います。

引き続き次回も今後の課題と取り組みを議題として審議したいと思います。

次回の会議、第4回ですが8月10日（月曜日）となります。

それでは本日はこれで閉会とします。